

【質疑要旨】		報告者	まちづくり推進課	
名 称	富士見市地域説明会(2日目)			
日 時	令和2年9月23日(水) 19時00分～20時50分			
場 所	水谷小学校体育館			
出席者	説明担当員・ 質疑対応員	市長、副市長、教育長、各部長		
	事務局職員	政策企画課及びまちづくり推進課		

【意見・質疑応答】

■発言者

昨年、水害が発生したが、自然災害はいつ起こるかわからない。地域に住んでいる人の助け合いが必要である。また、水谷地域は、新しい住民が増えており、地域に住んでいる7割近くは新しく来られた方だと思う。一役員としては、新しい方が町会に来られた場合には、地域で歓迎し、コミュニティの形成を図っていきたい。

国道254号バイパスの整備が進んでいる。これが完成すると水谷地区も変化があると思う。5年後、10年後に、より良い水谷地区のまちが出来るよう、また新しく来た人とコミュニケーションを図りながら、まちづくりができるようにと思っている。

■質問者

第1期基本計画の分野1の子ども・子育て支援のことでお伺いしたい。保育所待機児童数が現在27人でR7年度までに0人にしたいということだが、27人を0人にするのに5年かかるものなのか。

◆市長

市としては、人口を増やす施策を行っており、人口が増えれば、保育所が足りなくなるという実態があります。また、保育所の空き状況と、行きたい保育所のミスマッチも生じています。その辺りの状況をふまえながら対応を進めてまいります。

◆子ども未来部長

待機児童については、4月1日時点で27人発生していますが、市内全部の保育所は48人分空きが出ています。そのため、子どもたちの受け皿整備としては一定水準に達していると考えています。しかし、行きたい保育所がどこなのかという所と、年齢別のアンバランスによるミスマッチが生じている実態もあります。今後の方針として、0歳・1歳・2歳の保育を行う小規模の保育施設を1つ作る予定です。5年かかるということではなくて、その推移を見ながら整備を進めていく形でご理解をいただければと思います。よろしくお願いたします。

以 上